

科目名	インターンシップ2							年度	2024
英語科目名								学期	前・後
学科・学年	情報ビジネス科 1年次	必／選	選	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	風間 恵		教員の実務経験		無	実務経験の職種		企業研修講師	
【科目の目的】									
この科目の目的は、インターンシップを通じて学生が企業活動の実際の一端に触れ、以下の学習効果を期待することです。									
<p>企業における仕事の流れと進め方を理解する。</p> <p>企業の組織構造、人間関係、ルールを理解する。</p> <p>学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、学習への動機づけを高める。</p>									
【科目の概要】									
この科目では、インターンシップを通じて学生が実際の企業での業務に参加し、仕事の流れや進め方を学びます。また、企業の組織構造や人間関係、ルールなどについても理解を深め、学校で学んだ知識やスキルが実際の社会でどのように活かせるかを確認します。									
【到達目標】									
<p>企業活動の流れと進め方の理解</p> <p>組織構造と人間関係の理解</p> <p>学校での知識の活用と動機づけ</p> <p>自己評価と目標設定</p> <p>インターンシップの総合的成果</p>									
【授業の注意点】									
<p>インターンシップ開始前に担当教員と顔合わせに行く。また、インターンシップ活動賠償責任保険（総合賠償責任保険）に事前に参加すること。勤務時は受入先から特に指定がない場合は原則、スーツを着用する。期間中に電車遅延や体調不良で遅刻・欠勤する場合は必ず電話連絡すること。無断欠勤や勤務時の態度が悪い場合は、インターンシップを中断する可能性があるため、やむを得ない事情がある場合は、受入先企業、担任に速やかに連絡する。その他、社会人として必須のマナーを守ってインターンシップに参加すること。</p>									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	インターンシップ先での仕事の流れや進め方を深く理解し、自らの業務に適切に取り組み、効率的な実績を上げる	インターンシップ先での仕事の流れや進め方を理解し、業務に適切に取り組み、実績を上げる	インターンシップ先での仕事の流れや進め方を一部理解し、業務に取り組みが、改善の余地がある	インターンシップ先での仕事の流れや進め方に課題があり、業務への取り組みに支障をきたす	インターンシップ先での仕事の流れや進め方の理解が不足し、業務の遂行が難しい状態である				
到達目標 B	インターンシップ先の企業の組織構造や人間関係、ルールを深く理解し、円滑なコミュニケーションを実践する	インターンシップ先の企業の組織構造や人間関係、ルールを理解し、コミュニケーションを取る	インターンシップ先の企業の組織構造や人間関係、ルールを一部理解し、コミュニケーションに努める	インターンシップ先の企業の組織構造や人間関係に課題があり、コミュニケーションに支障をきたす	インターンシップ先の企業の組織構造や人間関係の理解が不足し、円滑なコミュニケーションが難しい状態である				
到達目標 C	学校で学んだ知識をインターンシップで実践的に活用し、自身の成長と今後の学習への動機づけを高める	学校で学んだ知識をインターンシップで活用し、成長と学習の動機づけを実感する	学校で学んだ知識を一部活用し、成長と学習への動機づけを感じるが、一部課題がある	学校で学んだ知識の活用において課題があり、成長や学習への動機づけが制限される	学校で学んだ知識の活用や成長の実感が不足し、今後の学習への動機づけが難しい状態である				
到達目標 D	インターンシップを通じて自身の強みや課題を客観的に評価し、目標を設定し、効果的な成果を追求する	インターンシップにおいて自己評価を行い、目標を設定し、成果を追求する	インターンシップにおいて自己評価や目標設定を一部行い、成果に向けて努力する	インターンシップにおいて自己評価や目標設定に課題があり、成果の追求に支障をきたす	インターンシップにおいて自己評価や目標設定の理解が不足し、成果の追求や努力が難しい状態である				
到達目標 E	インターンシップを通じて企業での実務経験を十分に活用し、目標達成に向けて高い成果を上げる	インターンシップでの実務経験を活用し、目標達成に向けて成果を上げる	インターンシップでの実務経験を一部活用し、目標達成に向けて努力する	インターンシップでの実務経験や成果に課題があり、目標達成に向けた努力に支障をきたす	インターンシップでの実務経験や成果の理解が不足し、目標達成に向けた努力が難しい状態である				
【教科書】									
【参考資料】									
レジュメ・資料を配布する。									
【成績の評価方法・評価基準】									
成果発表（口頭・実技）	50%	実習期間内に行われる発表方法、内容について評価する							
平常点	50%	積極的な参加度、勤務態度によって評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		インターンシップ 2			年度	2024
英語表記					学期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価	備考
1	イントロダクションと目標設定	インターンシップの目的と学習目標の設定を行う	インターンシップの意義	インターンシップの目的理解		
			個人の学習目標の設定方法	個人の目標設定		
2	企業の概要と業務理解	インターン先企業の概要と業務内容を理解する	企業の沿革	企業概要の把握		
			業界の特徴	業界知識の習得		
			主要な業務領域の紹介			
3	仕事の流れと進め方	企業内の業務フローと仕事の進め方を理解する	業務プロセスの解説	仕事のプロセス理解		
			タスクの進め方やスケジュール管理の方法	タスク管理のスキル		
4	組織構造と人間関係	企業の組織構造と人間関係を把握する	組織図の解説	組織構造理解		
			チーム内のコミュニケーションと協力の重要性	効果的なコミュニケーションスキル		
5	企業のルールと文化	企業内のルールや文化を理解する	服務規程	企業文化の理解と遵守		
			コパバリュウ	職場エチケット		
			エチケットなどの解説			
6	インターンの役割と貢献	インターンとしての役割と貢献方法を考える	インターンの期待役割	プロジェクト参加のアプローチ		
			プロジェクトへの参加方法	貢献の方法		
7	学校で学んだ知識の活用	学校で学んだ知識がどのように活かせるかを考える	専門知識の応用例	学識の実務への展開		
			業務における問題解決のアプローチ	問題解決のスキル向上		
8	プロジェクトワーク	実際の業務プロジェクトに取り組む	プロジェクトのテーマ設定	プロジェクトマネジメント		
			タスクの分担	協力とコミュニケーション		
			進捗管理			
9	インターンの成果報告	インターンシップの成果を報告する方法を学ぶ	プレゼンテーションの基本	プレゼンテーションスキル		
			成果報告の準備	成果の整理と報告		
10	インターンの振り返り	インターンシップを振り返り、学びを整理する	インターンの経験の振り返り	経験の振り返りと学びの洗練		
			得た教訓の共有			
11	インターンの学びを今後に活かす	インターンで得た学びを今後の学習やキャリアに活かす	インターンの学びのアウトプット	学びのアウトプット		
			キャリア戦略の考え方	キャリア戦略の策定		
12	インターンのフィードバックと改善点	インターンシップのフィードバックを受けて改善点を洗い出す	フィードバックの分析	フィードバックの受け入れと改善の実行		
			改善策の提案			
13	インターンの成果発表とディスカッション	インターンの成果を発表し、ディスカッションを行う	成果発表のプレゼンテーション	プレゼンテーションとディスカッションのスキル		
			ディスカッション			
14	インターンシップの成果と評価	インターンシップ全体の成果を振り返り、評価する	インターンシップの成果と学びのまとめ	インターンシップの成果評価と自己評価		
			評価基準の確認			
15	インターンシップの総括と展望	インターンシップの総括と今後の展望を考える	インターンシップの振り返り	インターンシップの総括と未来への展望		
			今後の学びとキャリアの展望			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等